

「二高白神プロジェクト」 第2回招へい講座

令和元年9月5日（木）の総合的な学習の時間に「二高白神プロジェクト 第2回招へい講座」を実施いたしました。

本校では総合的な学習の時間を中心に、世界自然遺産「白神山地」の魅力を伝えることのできる生徒を育成する「二高白神プロジェクト」に取り組んでいます。

その活動の一つ、外部の有識者からの白神山地に関する講義「招へい講座」2回目は、あきた白神認定ガイド 高瀬 由里子 氏による講座でした。

講師 あきた白神認定ガイド 高瀬 由里子 氏
演題 「登山が大嫌いだったのに白神ガイドになった私のお話」



講師の 高瀬 由里子 氏



ガイドさんの目から見た白神山地のお話

講師の高瀬さんは藤里町商工会観光振興課の職員をされています。はじめは登山が好きではなかったのに、藤里駒ヶ岳でのたった1回の登山がきっかけとなって山が大好きになり、あきた白神認定ガイドの第1号に認定されました。高瀬さんを取りこにした白神山地の魅力について講演を聞いた生徒たちは、13日のフィールドワークで実際に植林と散策を体験します。



メモを取りながら真剣に聴いています



代表生徒からのお礼

最後に代表生徒が今回の講演で学んだことを述べ、高瀬さんに感謝の気持ちを表しました。

～～ 生徒の感想から 一部を紹介 ～～

今回の講演を聞いて、人間は変われるんだなあと思いました。私も自然が大好きなので、スクリーンに映った白神岳の写真を見たときに感動しました。自分でも見に行きたいという気持ちになりました。お仕事が休みの日にガイドをされているそうなので、お体に気をつけて頑張ってもらいたいです。

ガイドの人たちはガイドだけをしていると思ったら、白神山地のPRや巡視なども行っているということを知りました。「高齢化」はガイドさんたちの大きな課題になっているそうなので、その対策として、若いガイドさんを増やせばいいなと思います。

白神山地に密接に関わる仕事をしている高瀬さんのお話を聞いて、ガイドになったからこそ分かるこの土地のよさや山の魅力を知ることができました。自分も白神山地をよく知るために、自然に触れる機会を増やしたいと思いました。

子供のころは登山が大嫌いだと思っけていても、大人になって登山したら見方が変わって、子供のころと違う景色で見えたりすることが分かりました。また、ガイドになるにはいろいろな資格が必要なことも分かりました。白神フィールドワークでは、いろいろな目線で見て登山を楽しみたいです。